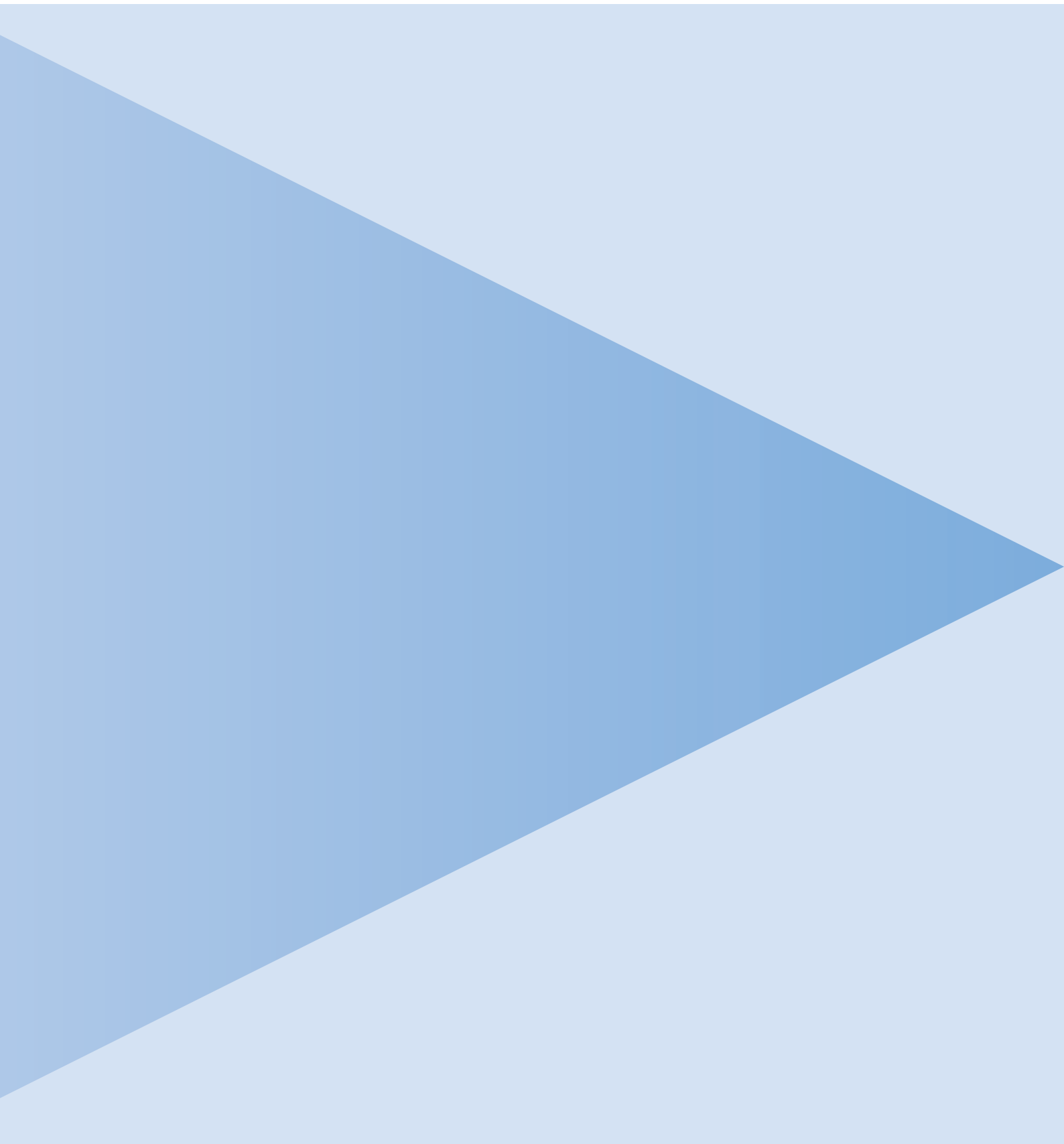


OIDAI

GRADUATE SCHOOL GUIDE
2024



経営・経済研究科

経営・経済専攻 経営コース(博士前期課程)

- ・ビジネス研究領域
- ・会計・経営情報研究領域
- ・企業法務研究領域

経営・経済専攻 経済コース(博士前期課程)

- ・経済研究領域
- ・地域政策研究領域

経営・経済専攻 経営学分野(博士後期課程)

- ・ビジネス研究領域
- ・会計・経営情報研究領域
- ・企業法務研究領域

経営・経済専攻 経済学分野(博士後期課程)

- ・経済研究領域
- ・地域政策研究領域

心理学研究科

心理学専攻(博士前期課程)

- ・臨床心理学コース
- ・生涯発達・生涯教育心理学コース
- ・社会・環境・犯罪心理学コース

心理学専攻(博士後期課程)

- ・認知・脳科学領域研究部門
- ・発達心理学・発達支援領域研究部門
- ・社会心理学・集団力学領域研究部門

現代社会文化研究科

現代社会学専攻(修士課程)

- ・現代社会コース
- ・スポーツ文化学コース(新設)
- ・地域創造コース

国際教養学専攻(修士課程)

- ・国際コミュニケーションコース
- ・国際日本学コース

取得できる資格(教職課程)

中学校および高等学校教諭一種免許状授与の所要資格を有しており、教育職員免許法および同法施行規則に定める所要単位を修得したものに限り、中学校および高等学校教諭の専修免許状の授与資格を得ることができます。

研究科	専攻	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
経営・経済研究科	経営・経済専攻	社会	公民・商業
心理学研究科	心理学専攻	社会	公民
現代社会文化研究科	現代社会学専攻	社会	公民
	国際教養学専攻	英語・国語	英語・国語

※心理学専攻において所定の単位を修得した場合は、「学校心理学」、「臨床心理学」、「発達心理学・教育心理学」、「社会心理学」のいずれかの分野の記入を受けることができます。

大学院学内推薦入試

追手門学院大学では、大学院に進学して専門領域のより高度な研究を進めようとする本学学生に対して、学内推薦入試を実施しています(※心理学研究科を除く)。本学卒業生または当該年度卒業見込み者が対象となります。学科試験は行わず、口頭試問または面接と、在学中の学業成績による学力評価によって選考するという点が、この学内推薦入試の大きな特徴となっています。

大学院長期履修制度

社会人など職業を有している等の事情から、標準修業年限(修士課程・博士前期課程は2年/博士後期課程は3年)では大学院の教育課程の修了が困難な場合に、あらかじめ標準修業年限を超えた長期間における履修計画を立て、それに基づいて在籍及び履修をすることにより、学位の取得を可能とする制度です。

学部・大学院5年一貫教育制度

本学では、優秀な学生がより積極的に大学院進学をめざせるよう4年間の学部教育と1年間の大学院教育(修士課程・博士前期課程)を有機的に組み合わせ、大学入学から4年後に学士の、そして5年後には修士の学位を取得することができる制度を導入しています。

本制度に応募し、適用が認められた学生は、4年次に学部学生のまま大学院の講義を履修することができます。本制度の詳細は、教務課にお問い合わせください。なお、心理学研究科については、本制度の対象外です。

2024年度 大学院入試日程

入試種別	専攻	課程	試験日	出願期間	合格発表日	入学手続締切日
第1期	経営・経済専攻 心理学専攻 現代社会学専攻 国際教養学専攻	博士前期	2023年 10月7日(土)	2023年9月14日(木)	2023年 10月13日(金)	2023年 11月13日(月)
		博士前期		2023年9月22日(金) (当日消印有効)		
		修士				
第2期	経営・経済専攻 心理学専攻 現代社会学専攻 国際教養学専攻	博士前期	2024年 2月4日(日)	2023年12月22日(金)	2024年 2月16日(金)	2024年 3月4日(月)
		博士前期		2024年1月12日(金) (当日消印有効)		
		修士				
社会人	経営・経済専攻 現代社会学専攻 国際教養学専攻	博士前期 修士				
博士後期課程	経営・経済専攻 心理学専攻	博士後期 博士後期				
博士後期課程 社会人	経営・経済専攻 心理学専攻	博士後期 博士後期				

経営・経済研究科

経営・経済専攻

博士前期課程／博士後期課程



経済学と経営学の領域を融合した教育研究により、複雑な経済社会現象の本質を究明し、従来の学術研究で用いられてきた方法論を超えた新しい知見の獲得をめざします。

建学の精神である「独立自強・社会有為」のもと、経営・経済研究科は企業・団体のビジネス分野あるいは公共機関の政策・経営分野における理論と実践事例の分析力及び課題発見・解決力を培い、プロフェッショナル・キャリア開発の基盤となる自立的研究力を有する高度職業人材を育成することを目的として2018年度に開設されました。

博士前期課程では、経営学・経済学の両分野にわたる基本理論と論理的思考法を広く学ぶとともに、経営学、会計・経営情報、企業法務、経済研究又は地域政策の専門分野の理論、制度・政策、実践事例等を体系的に深く学び、それぞれの専門分野における課題を発見、調査、分析及び考察する能力を養成するため、多彩な教育プログラムを編成しています。

博士後期課程では、博士前期課程での主体的な探求活動を通して獲得した学びの成果を土台にして、独自の分析手法の洗練とともに、探求テーマにかかわるオリジナルな研究成果を獲得・発信することができる能力を養成するため、個別の教員による研究指導に重点を置いた教育を展開します。

本研究科は、主に次のような学生の進学を想定しています。

1. 経営あるいは経済分野を専攻し、専門職キャリアを希望する学部学生
2. 経営あるいは経済分野の学位を取得し、専門職としてのキャリアアップをめざすアジア地域からの留学生
3. 企業、団体、教育機関、地方公共団体等におけるマネジメント業務において、専門職キャリアの自己開発力を高めようとする社会人

加えて、博士前期課程では、学士課程からの進学者には、本研究科において専攻を希望するコース・研究領域にかかわる専門基礎分野の学修達成、ならびに専門職キャリア志向の意欲・態度を身につけていることを求めます。また、社会人入学者には、本研究科において専攻を希望するコース・研究領域にかかわる専門基礎分野の学修経験あるいは実務経験、ならびに専門職分野へのキャリアアップの意欲をもつことを求めます。

博士後期課程では、専攻を希望する研究分野にかかわる修士論文及び学術発表、論文の研究実績と、高度専門職としての自立の意思を有することを求めます。

学位取得のメリット

環境、立場に応じた学びが整えられています。

現役ビジネスパーソンの方なら

大学院で取得できるドイツSAP社の世界標準資格等がキャリアアップへの道を拓きます。これまでの現場の実績(専門知識・専門スキル)を博士論文にまとめ、後の世代に伝承することができます。また、大学教員(非常勤)の道が拓かれる等、高度な専門家として企業やビジネスの機会を拡大することができます。めざすは「経済に明るいビジネスパーソン」、「経営の現場の認識力の高い経済人」。めざす力を養成する他に類を見ないコースワークです。

ソーシャルビジネスに従事する方なら

地域政策や地域創造に貢献したい方にとっても深い学びを得ることができます。「地域政策」の学位が皆様の専門性を保証してくれます。地域社会で社会貢献に従事する公務員やNPOなど非営利組織の職員、加えて地域政策の日常的な実際の担い手、リーダーである市民の皆様のニーズに応えます。

学部生の方なら

ドイツSAP社の世界標準資格を取得できます。大学院での専門性が評価され、就職に活かすこともできます。また、本学学部生の方なら履修期間が1年間短縮できる履修の仕組みがあるため、これにより1年分の授業料で修了できる可能性があります。

特別講義・セミナー

社会人対象特別プログラム

経営・経済研究科では、「社会の知」と「学問の知」の共創をテーマに、様々なプログラムを開催しています。社会の現場で高い実績を上げられた方々を講師としてお迎えし、最新の経営メソッドをお話いただけます。

2022年度実績

2022年10月開催(オンライン)

2023年2月

経営・経済専攻 博士前期課程 コース紹介

経営
コース

ビジネス研究領域

経営戦略・マネジメント・マーケティングスキルなど経営学の専門分野の理論、制度・政策、実践事例を体系的に深く学び、ビジネス課題の発見・解決に資する定量・定性分析力と考察力を身につけます。

会計・経営情報研究領域

財務会計や経営分析など会計・経営情報の専門分野の理論、制度・政策、実践事例を体系的に深く学び、会計・経営情報の課題の発見・解決に資する分析法・考察力を身につけます。

企業法務研究領域

民法や会社法をはじめとしたビジネス法務分野において専門分野の理論、制度・政策、法務実例等を体系的に深く学び、国内外の企業法務の課題を調査・分析・考察する力を身につけます。

経済
コース

経済研究領域

経済政策・金融経済・ファイナンス分析など経済研究の専門分野の理論、制度・政策、歴史を体系的に深く学び、経済政策分析に必要な数理的解析手法を身につけます。

地域政策研究領域

地域経済・地域経営の課題に取組み、地域政策の専門分野の理論、政策、応用事例を体系的に深く学びながら、地域課題を発見・分析・考察する力を身につけます。

経営・経済両分野のクロスオーバー科目履修の例

経済コースで地域政策研究領域を選択した場合の履修モデル

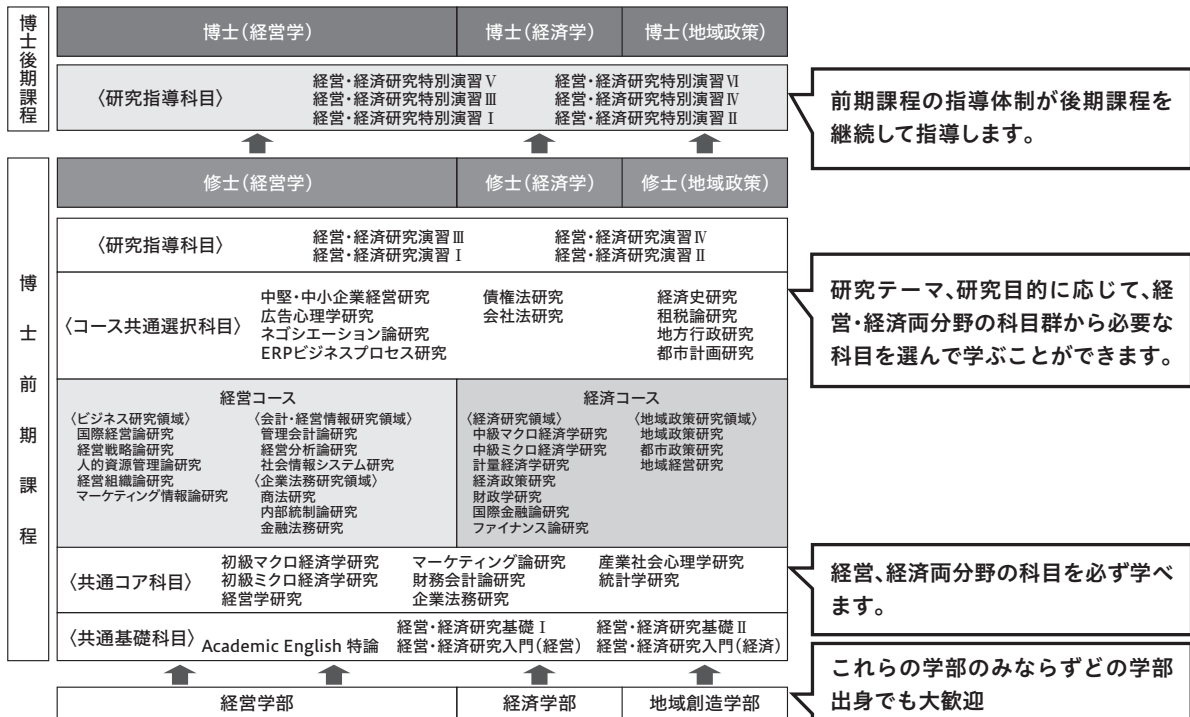
科目区分	1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期		総習得 単位数
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
共通基礎	経営・経済研究入門(経営)☆	2							
	経営・経済研究基礎 I	2	経営・経済研究基礎 II	2					
共通コア	初級マクロ経済学研究★	2	統計学研究★	2					
	初級ミクロ経済学研究★	2							
専攻科目	地域政策研究★	2	都市政策研究★	2	経済政策研究★	2	地方行政研究★	2	
			地域経営研究★	2	中堅・中小企業経営研究☆	2	ERPビジネスプロセス研究☆	2	
研究指導	経営・経済研究演習 I	2	経営・経済研究演習 II	2	経営・経済研究演習 III	2	経営・経済研究演習 IV	2	
修得単位数	12		10		6		6		34

経済コースの研究領域ですが、★印の経済分野科目に加えて、☆印の経営分野科目も履修できます。特に共通基礎のみならず、学ぶ研究領域の専攻科目においても、経営分野の科目を取得できるところが、分野間クロスオーバーの醍醐味です。

経営・経済専攻 博士後期課程

独自の分析手法の洗練とともに、探求テーマにかかわるオリジナルな研究成果を獲得・発信することができる能力を養成するため、前期課程に接続する形での各研究領域専修者への研究指導を基本とし、それぞれの研究領域における統合的な学修と探求を深める研究指導を行います。

経営・経済研究科のカリキュラムの体系と特徴



前期課程の指導体制が後期課程を継続して指導します。

研究テーマ、研究目的に応じて、経営・経済両分野の科目群から必要な科目を選んで学ぶことができます。

経営、経済両分野の科目を必ず学べます。

これらの学部のみならずどの学部出身でも大歓迎

〈博士前期課程〉

■全研究科共通科目

授業科目	単位
Academic English 特論	—

備考 指導教員が研究上特に必要と認めた場合に限り、履修することができます。

■共通基礎科目

授業科目	単位
経営・経済研究入門(経営)	2
経営・経済研究入門(経済)	2
経営・経済研究基礎I	2
経営・経済研究基礎II	2

■共通コア科目

授業科目	単位
初級マクロ経済学研究	2
初級ミクロ経済学研究	2
経営学研究	2
マーケティング論研究	2
財務会計論研究	2
企業法務研究	2
産業社会心理学研究	2
統計学研究	2

■経営コース専攻科目

授業科目	単位
国際経営論研究	2
経営戦略論研究	2
人的資源管理論研究	2
経営組織論研究	2
マーケティング情報論研究	2
管理会計論研究	2
経営分析論研究	2
社会情報システム研究	2
商法研究	2
内部統制論研究	2
金融法務研究	2

〈博士後期課程〉

授業科目	単位
経営・経済研究特別演習I	2
経営・経済研究特別演習II	2
経営・経済研究特別演習III	2
経営・経済研究特別演習IV	2
経営・経済研究特別演習V	2
経営・経済研究特別演習VI	2

■経済コース専攻科目

授業科目	単位
中級マクロ経済学研究	2
中級ミクロ経済学研究	2
計量経済学研究	2
経済政策研究	2
財政学研究	2
国際金融論研究	2
ファイナンス論研究	2
地域政策研究	2
都市政策研究	2
地域経営研究	2

■コース共通選択科目

授業科目	単位
中堅・中小企業経営研究	2
広告心理学研究	2
ネゴシエーション論研究	2
ERPビジネスプロセス研究	2
債権法研究	2
会社法研究	2
経済史研究	2
租税論研究	2
地方行政研究	2
都市計画研究	2

■研究指導科目

授業科目	単位
経営・経済研究演習I	2
経営・経済研究演習II	2
経営・経済研究演習III	2
経営・経済研究演習IV	2

備考 経営・経済研究基礎I(2単位)を含め、共通科目(共通基礎科目・共通コア科目)から8単位以上、および経営・経済研究演習Iから経営・経済研究演習IVの8単位を修得し、合計30単位以上を修得すること。

〔経営・経済研究科〕

経営コース

〈ビジネス研究領域〉

石盛 真徳 教授、博士(人間科学) ■社会心理学、コミュニティ心理学
高嶋 克義 教授、博士(商学) ■商学、マーケティング、流通論

原田 章 教授 ■行動計量学、心理学

朴 修賢 教授、博士(経営学) ■マーケティング論、インターネットマーケティング論

村上 喜郁 教授、博士(商学) ■経営管理論、生産管理論

八木 俊輔 教授、博士(農学) ■経営管理論、環境経営学

神吉 直人 准教授、博士(経済学) ■経営組織論、経営戦略論

栢尾 安伸 准教授、博士(経営学) ■経営組織論、人的資源管理論

長岡 千賀 准教授、博士(人間科学) ■認知科学、社会心理学
実験心理学

宮崎 崇将 准教授、博士(商学) ■流通システム論

〈会計・経営情報研究領域〉

崔 宇 教授、博士(経営学) ■経営情報、オペレーションズマネジメント

宮宇地 俊岳 教授、博士(経済学) ■会計学、財務会計

山下 克之 教授、博士(経済学) ■会計学、財務諸表論

李建 教授、博士(経営学) ■会計学、管理会計論

〈企業法務研究領域〉

徐 治文 教授、博士(法学) ■商法、会社法

水野 浩児 教授 ■民法、租税法

藤原 英賢 准教授、博士(経営学)

■会計学、監査論

〔経営・経済研究科〕

経済コース

〈経済研究領域〉

宇仁 宏幸 教授、博士(経済学) ■理論経済学

小椋 真奈美 教授、博士(経済学) ■応用計量経済学、経済統計学

木下 智博 教授 ■金融政策

橋本 圭司 教授、博士(経済学) ■理論経済学

細井 雅代 教授、博士(経済学) ■地方財政論

村上 亨 教授、経済学博士 ■経済政策、幸福の経済学

四塚 朋子 教授 ■ファイナンス

〈地域政策研究領域〉

藤原 直樹 教授、博士(商学) ■地域政策、行政・地域経営

葉山 幹恭 講師、博士(経営学) ■農業経営、経営戦略論

取得できる資格

SAP認定コンサルタント

経営・経済研究科では、「ERPビジネスプロセス研究(夏期集中講義)」を受講し、単位を修得することで、SAP認定コンサルタントの受験資格を取得することができます。

SAP認定コンサルタントについて

SAPとは

SAPはドイツに本社を置く、ビジネスプロセス管理の分野で世界有数のソフトウェアメーカーです。ビジネスソリューションの標準ソフトを初めて開発した企業の1つであり、業界をリードするERPソリューションを提供し続けている企業としても有名です。

ERPとは

ERPとは「Enterprise Resource Planning」の略語で、直訳すると「経営資源計画」となります。ERPは、企業経営の基本となる「ヒト・モノ・カネ・情報」といった経営資源を統合的に管理し、適切に分配・有効活用する手法を検討します。あらゆる情報を一元管理することで、業務を効率化するだけでなく、意思決定のスピードを高め、経営そのものの効率化を図ることが期待されます。現在は「基幹系情報システム」のことを指すことも多く、企業の情報戦略に欠かせないシステムとして多くの企業で導入されています。

SAP認定コンサルタントとは

SAP社がERPパッケージを始めとしたSAPシステムに関する知識とスキルを習得していることを認定する資格です。コンサルタント資格を有することで、世界中で通用する知識・スキルを有することが認知され、自身のキャリアアップにつながることを期待されます。本学で開講している「ERPビジネスプロセス研究」を受講することで、SAPの幅広い基本的な知識とスキルを学習することができます。

※上記の内容は、2023年4月の情報です。最新の情報は大学ホームページ「OIDAI 入試ナビ」をご確認ください。

心理学研究科

心理学専攻

博士前期課程／博士後期課程



心理学研究科の目標と特徴

心理学研究科心理学専攻では、心理学の専門資格を有して心理職として活躍できる高度専門職業人や、知識基盤社会を支える心理学の幅広い専門的知識を有する教養人、および将来研究者となるための人材を育成することを目標として、下記1.～10.のような特徴を持つ教育を行います。

博士前期課程では臨床心理学コース、生涯発達・生涯教育心理学コース、社会・環境・犯罪心理学コースの3コースを設けて、実社会に通じる心理学の高品質で高度な専門教育を実施します。博士後期課程では認知・脳科学領域研究部門、発達心理学・発達支援領域研究部門、社会心理学・集団力学領域研究部門を設けて、より高度な専門性を備えて先端的な心理学研究に従事することのできる人材を育てます。

1. 社会のニーズに応えるために、幅広い心理学の領域を備えた大学院博士前期課程／博士後期課程である。
2. 担当教員数が多く、院生の研究したい領域に応えることができる。
3. 公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士などの資格取得に応えるカリキュラム構成である。
4. 院生中心の教育をもとに、個人の学びに応じた心理学の専門教育を実施している。
5. 心理学研究や実習のために充実した学内施設を持っている。
6. 院生と教員との距離が近く、アカデミックアドバイザーとして充実した学修の支援を行っている。
7. 充実した学外連携施設での実習を確保している。
8. 懇切丁寧に研究を指導し、学位論文の執筆を強力に支援している。
9. 支援法に関する現実場面で役に立つ、理論に基づいた実践的授業を実施している。
10. 授業料減免措置などで社会人に広く門戸を開いている。

取得できる資格

公認心理師と臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士の受験資格取得が可能

博士前期課程の「臨床心理学コース」は、日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校の認定を受けています。

臨床心理学コースでは公認心理師と臨床心理士の受験資格の取得が可能です。

生涯発達・生涯教育心理学コースでは公認心理師に加えて、臨床発達心理士(臨床発達心理士認定運営機構)と学校心理士(学校心理士認定運営機構)の受験資格取得が可能です。

社会・環境・犯罪心理学コースでは、「公認心理師」の受験資格の取得はできないものの、臨床発達心理士(臨床発達心理士認定運営機構)、学校心理士(学校心理士認定運営機構)の受験資格取得を可能にする科目を履修できます。さらに、司法・矯正及び更生保護の各現場で活躍できる専門家あるいは研究者の育成に取り組んでいます。

公認心理師について

万全のカリキュラム、経験豊富な教員のサポート

心理学研究科では国家資格である公認心理師の養成に万全の体制で臨みます。国家試験の受験資格を得るためには学部で25科目、大学院で10科目を修める必要がありますが、本学では学部・大学院ともにこれら全ての科目が履修できるカリキュラムを提供しています。また、これらの科目のうち学部の「心理実習」では80時間以上の実習が、大学院の「心理実践実習」では450時間以上の実習がそれぞれ必要ですが、どちらも経験豊富な教員による十分なサポートが受けられます。

臨床心理学コースと生涯発達・生涯教育心理学コースで「公認心理師」受験資格の取得が可能

大学院心理学研究科臨床心理学コースはこれまで日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校として臨床心理士の養成に努めてきましたが、2018年度以降は臨床心理学コースで学ぶことで臨床心理士に加えて公認心理師の受験資格取得が可能になっています。また、生涯発達・生涯教育心理学コースでは公認心理師に加えて、臨床発達心理士(臨床発達心理士認定運営機構)と学校心理士(学校心理士認定運営機構)の受験資格取得を可能にする科目を配置しています。

資格カリキュラム (2024年4月予定)

①公認心理師受験資格に関する指定科目

	公認心理師受験資格として必要となる領域	本学の開講科目名称	単位	履修可能コース※1
①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	両コース共有科目
		障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		
②	福祉分野に関する理論と支援の展開	臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	
		臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)		
③	教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	
		教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)		
		学校心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)		
④	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	両コース共有科目
⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	両コース共有科目
⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	
		発達教育アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)		
		発達教育アセスメント演習2(心理的アセスメントに関する理論と実践)		
⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	2	両コース共有科目
		学校カウンセリング特論(心理支援に関する理論と実践)		
		カウンセリング技法演習(心理支援に関する理論と実践)		
⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	両コース共有科目
⑨	心の健康教育に関する理論と実践	ガイダンス特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2	両コース共有科目
⑩	心理実践実習	臨床心理実践基礎実習(心理実践実習)	1	両コース共有科目
		臨床心理アセスメント実習Ⅰ1(心理実践実習)	1	
		臨床心理学外短期実習(心理実践実習)	1	
		臨床心理アセスメント実習Ⅰ2(心理実践実習)	1	
		臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	1	
		臨床心理アセスメント実習Ⅱ1(心理実践実習)	1	
		臨床心理実践応用実習(心理実践実習)	1	
		臨床心理アセスメント実習Ⅱ2(心理実践実習)	1	
		発達教育心理実践実習Ⅰ1(心理実践実習)	1	
		発達教育心理実践実習Ⅰ2(心理実践実習)	1	
発達教育心理実践実習Ⅱ1(心理実践実習)	1			
発達教育心理実践実習Ⅱ2(心理実践実習)	1			

※1「両コース共有科目」と記載の無い科目については、各コース毎の開講科目表で、自身の所属コースではどの科目が開講されるかを確認すること。
 ※1履修可能コースは臨床心理学コースと生涯発達・生涯教育心理学コースです。

②臨床心理士受験資格に関する指定科目

履修区分	授業科目	単位	
必修	臨床心理学特論1	2	
	臨床心理学特論2	2	
	臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	2	
	臨床心理面接特論2	2	
	臨床心理アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	
	臨床心理アセスメント演習2	2	
	臨床心理基礎実習	2	
	臨床心理実習1(心理実践実習)	1	
	臨床心理実習2	1	
	選択必修	A	臨床心理学研究法特論1
臨床心理学研究法特論2			2
心理統計法特論		2	
B		認知心理学特論	2
		言語発達支援論	2
発達進化特論		2	
C		社会心理学特論	2
		犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2
D		精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2
		神経生理学特論	2
E	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	
	投映法特論	2	
	心理療法特論1	2	
	心理療法特論2	2	
選択	臨床心理アセスメント実習Ⅰ1(心理実践実習)	1	
	臨床心理アセスメント実習Ⅰ2(心理実践実習)	1	
	臨床心理アセスメント実習Ⅱ1(心理実践実習)	1	
	臨床心理アセスメント実習Ⅱ2(心理実践実習)	1	
	臨床心理実践基礎実習(心理実践実習)	1	
	臨床心理学コース演習1	1	
	臨床心理学コース演習2	1	
	上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。		
	臨床心理学外短期実習(心理実践実習)	1	
	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	
学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2		
産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2		
ガイダンス特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2		
学校カウンセリング特論(心理支援に関する理論と実践)	2		
社会認知神経科学特論	2		
上級集団力学演習	2		
上級対人行動学演習	2		

上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。

【臨床心理士受験資格】

- 臨床心理学コースで修士課程を修了していること
 - 上記の指定科目の修得要件を満たしていること
 - 臨床心理学に関連したテーマと内容の修士論文を提出していること
- 以上の全ての要件を満たしていなければならない。

③臨床発達心理士受験資格に関する指定科目

「臨床発達心理士」認定運営機構指定科目及び単位数	本学開講科目及び単位数	
臨床発達心理学の基礎に関する科目	臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
	生涯発達心理学演習	2
臨床発達支援の専門性に関する科目	発達進化特論	2
	臨床発達支援特論	2
認知発達とその支援に関する科目	神経生理学特論	2
	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
言語発達とその支援に関する科目	言語発達特論	2
	言語発達支援論	2

【臨床発達心理士受験資格】

- 本学心理学研究科博士前期課程心理学専攻生涯発達・生涯教育心理学コース又は社会・環境・犯罪心理学コースを修了していること
- 「基礎」と「専門性」を含む3つ以上の指定科目(1科目4単位)の単位を修得していること
- 200時間以上の臨床実習の経験を有すること

④学校心理士受験資格 学校心理学大学院類型

	「学校心理士」認定運営機構において定めた科目	対応する本学科目	単位数
コアとなる学問領域	学校心理学	学校心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
		教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	発達心理学	臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
		言語発達特論	2
実務の領域	学校心理学的援助の実践	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
		特別支援教育	2
		生徒指導・教育相談、キャリア教育	2
援助スキル領域	心理教育的援助サービスの理論と技法	発達教育アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2
		学校カウンセリング・コンサルテーション(実習を含む)	2

【学校心理士受験資格】

- 本学大学院博士前期課程心理学専攻 生涯発達・生涯教育心理学コース又は社会・環境・犯罪心理学コースを修了していること
- 「対応する本学科目」の9科目18単位を修得していること

※上記の内容は、2023年4月の情報です。最新の情報は大学ホームページ「OIDAI 入試ナビ」をご確認ください。

心理学専攻 博士前期課程 コース紹介

■ 臨床心理学コース

臨床心理学コースは日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校として認定を受けています。臨床心理学の研究者養成とともに、心理臨床の専門的知識と技能を用いて心理的問題に関わり援助するための高度専門職養成という2方向を見据えた教育を実施しています。

■ 生涯発達・生涯教育心理学コース

高度な心理学的専門知識をもとに臨床発達心理士、学校心理士の受験資格を取得し、社会の中で訓練された専門職業人として活躍することをめざすとともに、知識基盤社会を支えるために専門的な認知・脳科学、発達心理学、教育心理学の知識を持った教養人の養成、および研究者の育成を目標としてカリキュラムを構成しています。

■ 社会・環境・犯罪心理学コース

知識基盤社会を支える高度な心理学の専門的知識を持った教養人の育成をするとともに研究者の育成をめざしてカリキュラムを整備しました。実社会において、様々な現場で心理学の専門的知識を応用して環境を整備し、人々が心豊かに生きていくことができるように日常的援助をすることを目標としています。

講義一覧 (2024年4月予定)

心理学専攻(博士前期課程)

■ 全研究科共通科目

授業科目	単位
Academic English 特論	—

備考 指導教員が研究上特に必要と認めた場合に限り、履修することができます。

■ 臨床心理学コース

履修区分	授業科目	単位	
必修	臨床心理学特論1	2	
	臨床心理学特論2	2	
	臨床心理面接特論1(心理支援に関する理論と実践)	2	
	臨床心理面接特論2	2	
	臨床心理アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	
	臨床心理アセスメント演習2	2	
	臨床心理基礎実習	2	
	臨床心理実習1(心理実践実習)	1	
	臨床心理実習2	1	
	選択必修	A	臨床心理学研究法特論1
臨床心理学研究法特論2			2
心理統計法特論			2
B		認知心理学特論	2
		言語発達支援論	2
		発達進化特論	2
C		社会心理学特論	2
		犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2
		精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2
D		神経生理学特論	2
		障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
		投映法特論	2
E		心理療法特論1	2
		心理療法特論2	2
		臨床心理アセスメント実習Ⅰ1(心理実践実習)	1
臨床心理アセスメント実習Ⅰ2(心理実践実習)		1	
臨床心理アセスメント実習Ⅱ1(心理実践実習)		1	
臨床心理アセスメント実習Ⅱ2(心理実践実習)		1	
臨床心理実践基礎実習(心理実践実習)		1	
臨床心理実践応用実習(心理実践実習)		1	
臨床心理学コース演習1	1		
臨床心理学コース演習2	1		
上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。			
選択	臨床心理学外短期実習(心理実践実習)	1	
	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	
	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	
	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	
	ガイダンス特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2	
	学校カウンセリング特論(心理支援に関する理論と実践)	2	
	社会認知神経科学特論	2	
	上級集団力学演習	2	
	上級対人行動学演習	2	
	上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。		

心理学専攻 博士後期課程 研究部門紹介

■ 認知・脳科学領域研究部門

近年主流になりつつある、知・情・意の統合やそれらの身体的行為との相互作用に人間の認知活動の本質を捉えるような、より総合的な観点からの研究の進歩を背景に、人間の持つ高度なコミュニケーション機能に焦点を当て、それらの特性や機能を明らかにし、さらには脳内のメカニズムの解明やその理論化をめざします。

■ 発達心理学・発達支援領域研究部門

社会の中で人間関係を育みつつ生きる個人の心の育ちに関わるテーマを多角的にとりあげ、その実相を科学的実証研究によって解明することをめざし、発達支援の科学的基礎の解明と諸成果の実践への適用法を探ります。

■ 社会心理学・集団力学領域研究部門

研究パラダイムの転換を踏まえ、人と社会の間の重層的な影響過程の解明と包括的な理論化を志向した教育研究に取り組みます。

■ 生涯発達・生涯教育心理学コース

履修区分	授業科目	単位
必修	生涯発達・生涯教育心理学研究演習	1
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習1	1
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習2	1
選択必修	記憶と言語	2
	認知心理学特論	2
	臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
	神経生理学特論	2
	発達進化特論	2
	言語発達特論	2
	言語発達支援論	2
	臨床発達支援特論	2
	社会認知神経科学特論	2
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	学校心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	ガイダンス特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2
	学校カウンセリング特論(心理支援に関する理論と実践)	2
	カウンセリング技法演習(心理支援に関する理論と実践)	2
	生涯教育心理学演習	2
	生涯発達心理学演習	2
	社会認知神経科学演習	2
	発達教育アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2
	発達教育アセスメント演習2(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2
	発達教育心理実践実習Ⅰ1(心理実践実習)	1
発達教育心理実践実習Ⅰ2(心理実践実習)	1	
発達教育心理実践実習Ⅱ1(心理実践実習)	1	
発達教育心理実践実習Ⅱ2(心理実践実習)	1	
以上の科目から、16単位以上を修得すること。		
選択	臨床心理学外短期実習(心理実践実習)	1
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2
	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	社会心理学特論	2
	環境心理学特論	2
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2
	対人行動学特論	2
	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2
	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2
心理統計法特論	2	
集団力学特論	2	
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。		

講義一覧 (2024年4月予定)

心理学専攻(博士前期課程)

■社会・環境・犯罪心理学コース

履修区分	授業科目	単位
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅰ	2
	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅱ	2
選択必修	社会心理学特論	2
	環境心理学特論	2
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2
	対人行動学特論	2
	産業心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2
	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2
	心理統計法特論	2
	集団力学特論	2
	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。	
	上級社会心理学演習	2
	上級環境心理学演習	2
上級犯罪心理学演習	2	
上級対人行動学演習	2	
上級集団力学演習	2	
以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。		
選択	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2
	障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
	記憶と言語	2
	認知心理学特論	2
	臨床発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2
	神経生理学特論	2
	発達進化特論	2
	言語発達特論	2
	言語発達支援論	2
	臨床発達支援特論	2
	社会認知神経科学特論	2
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	学校心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2
	ガイダンス特論(心の健康教育に関する理論と実践)	2
	学校カウンセリング特論(心理支援に関する理論と実践)	2
	カウンセリング技法演習(心理支援に関する理論と実践)	2
	生涯教育心理学演習	2
	生涯発達心理学演習	2
	発達教育アセスメント演習1(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2
	発達教育アセスメント演習2(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2
	発達教育心理実践実習Ⅰ1(心理実践実習)	1
	発達教育心理実践実習Ⅰ2(心理実践実習)	1
	発達教育心理実践実習Ⅱ1(心理実践実習)	1
	発達教育心理実践実習Ⅱ2(心理実践実習)	1
	臨床心理学外短期実習(心理実践実習)	1
	上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。	

心理学専攻(博士後期課程)

■開講科目一覧表

授業科目	単位
認知・脳科学特別研究	4
社会心理学・集団力学特別研究	4
発達心理学・発達支援特別研究	4
認知・脳科学特別演習Ⅰ	4
認知・脳科学特別演習Ⅱ	4
認知・脳科学特別演習Ⅲ	4
社会心理学・集団力学特別演習Ⅰ	4
社会心理学・集団力学特別演習Ⅱ	4
社会心理学・集団力学特別演習Ⅲ	4
発達心理学・発達支援特別演習Ⅰ	4
発達心理学・発達支援特別演習Ⅱ	4
発達心理学・発達支援特別演習Ⅲ	4

教員・専門分野 (2024年4月予定)

心理学専攻(博士前期課程)

〈臨床心理学コース〉

永野 浩二 教授 ■臨床心理学	馬場 天信 教授、博士(心理学) ■臨床心理学、精神分析
溝部 宏二 教授、博士(医学) ■精神医学、臨床心理学	櫻井 鼓 准教授、博士(教育学) ■臨床心理学、トラウマ
辻 潔 准教授 ■臨床心理学	益田 啓裕 准教授、博士(小児発達学) ■臨床心理学、福祉心理学
嶋 大樹 講師、博士(人間科学) ■認知行動療法	

〈生涯発達・生涯教育心理学コース〉

石王 敦子 教授、博士(教育学) ■認知心理学	小野田 慶一 教授、博士(学術) ■認知神経科学
竹下 秀子 教授、博士(教育学) ■発達心理学、進化発達支援論	豊田 弘司 教授、博士(文学) ■教育心理学
三川 俊樹 教授 ■カウンセリング心理学、学校心理学	大神田 麻子 准教授、博士(文学) ■発達心理学
駿地 真由美 准教授 ■臨床心理学	田中 秀明 准教授、博士(人間科学) ■認知神経心理学、生理心理学

〈社会・環境・犯罪心理学コース〉

金政 祐司 教授、博士(人間科学) ■社会心理学、パーソナリティ心理学	東 正訓 教授、博士(心理学) ■応用社会心理学、交通心理学
増井 啓太 准教授、博士(学術) ■社会心理学、犯罪心理学	宮川 裕基 講師、博士(心理学) ■社会心理学、臨床心理学

〈公認心理師〉

石田 拓也 特任助教 ■臨床心理学、精神分析	河嶋 珠実 特任助教 ■臨床心理学、思春期臨床
---------------------------	----------------------------

心理学専攻(博士後期課程)

〈認知・脳科学領域研究部門〉

井佐原 均 教授、博士(工学) ■自然言語処理、人工知能	小野田 慶一 教授、博士(学術) ■認知神経科学
庄野 修 教授、博士(理学) ■機械学習、計算論の神経科学	丸野 進 教授、博士(工学) ■画像映像メディア処理、知覚情報処理
廣瀬 智士 准教授、博士(人間・環境学) ■認知神経科学、身体性認知制御	本田 秀仁 准教授、博士(学術) ■認知科学、意思決定科学

〈発達心理学・発達支援領域研究部門〉

竹下 秀子 教授、博士(教育学) ■発達心理学、進化発達支援論	豊田 弘司 教授、博士(文学) ■教育心理学
大神田 麻子 准教授、博士(文学) ■発達心理学	

〈社会心理学・集団力学領域研究部門〉

浦 光博 教授、博士(社会学) ■社会心理学、社会脳科学	金政 祐司 教授、博士(人間科学) ■社会心理学、パーソナリティ心理学
東 正訓 教授、博士(心理学) ■応用社会心理学、交通心理学	増井 啓太 准教授、博士(学術) ■社会心理学、犯罪心理学

現代社会文化研究科

現代社会学専攻／国際教養学専攻
修士課程



現代社会学専攻

色々な問題を、さまざまな角度から

社会学は人間社会に出現するあらゆる事象をその研究対象としています。そのため、社会学は間口が広く、扱うテーマはきわめて多岐にわたっています。ひとくちに「社会」といっても、家族や身近な仲間といった小さな社会から、地域や組織や世代、さらに民族や国家などの大きな社会まで、さまざまなものが考えられ、そのいずれもが社会学の研究対象となります。したがって、社会学においては「何でもありだ」という言い方もできます。その「何でもあり」といった幅の広さ、柔軟さを取り込んで、社会学は常に活気を持った学問として存在してきました。2019年度より本専攻は、これまでの社会学の専門性や多様性に加え、「地域づくり」「地域政策」にまで領域を広げ、さらに2024年度からはスポーツを広く社会文化として捉えた領域として拡大し、それらを専門的・体系的に学べるように整備しました。個人が自らの知的関心に基づいて、その研究対象に自由にアプローチできるのが、本専攻の大きな特質です。

現代社会コース

「現代」を読み解く視点を養い、 社会に活かせる問題解決力を磨く

複雑で変化の激しい「現代」を見つめ、産業の多様化、テクノロジーの発達、情報化、国際化、高齢化といった現代社会の重要な諸問題に理論・実証の両面からアプローチします。本コースでの研究領域としては「現代社会問題領域」「社会学研究領域」「社会文化デザイン領域」があります。

スポーツ文化学コース

スポーツを社会文化と捉え、 研究と実践から価値想像力を磨く

現代社会においてスポーツは社会の文化形成に関わる体系的な領域と捉えることができます。本コースではスポーツに関する基礎的問題から、スポーツに関わる文化、産業、心理、医療、健康、メディアなど、日常の社会生活に現れる幅広い分野をカバーします。スポーツを社会・文化現象として捉え、人文・社会科学的に研究することで、スポーツに関する高度かつ広範な専門的知識を身につけた人材の育成をめざしています。

地域創造コース

地域の新しい価値を発見し、 社会の発展に貢献できる力を養う

地域が抱える課題を読み解き、そこに潜在する資源・価値を再発見し、持続的な地域社会を創造するための思想と技術、その基盤となる「知」を探究します。本コースの研究領域である「計画・デザイン領域」「地域政策領域」「観光領域」を通じて、より多様かつ高度な専門性を身につけることができます。

国際教養学専攻

教育・研究の目的

国際コミュニケーションコースでは、国際社会において求められる教養を備え、その確かな教養力に裏打ちされた、英語学、英米文学、英語教育学のいずれかの分野における高度かつ専門的な知識を有する人材の育成を目的とします。英語と日本語の双方の言語で英語学、英米文学、英語教育学に関する研究文献や各種の資料を読み解き、自らの研究において適切にそれらを活用することができることはもちろんのこと、自らを深く知り、研究を通じて自らを不断に成長させる高度専門職業人を育成することを目的としています。

また、国際日本学コースでは、国際社会において求められる教養と、日本語あるいは英語のより高い運用力を基礎に、日本の文化を深く考察し、それらの研究を通じて自らを不断に成長させる高度専門職業人を育成することを目的としています。

国際コミュニケーションコース

英米の言語・文化・英語教育の理論を实践・応用できる力を養う

国際共通語としての英語の高度運用能力と英語学、英文学、文化地理学の知識を修得。言語への考察を深める「言語学領域」、教育学や教授法を追求する「外国語教育領域」、異文化マネジメントを中心とした「海外文化・コミュニケーション領域」の選択科目を設置しています。

国際日本学コース

日本の言語文化を追求し、中国と日本など世界の架け橋になれる人材へ

日本文化を世界との関わりの中で国際的かつ学術的に研究し、日本文化の価値を発信できる力を養います。幅広い学修を通じて、留学生であっても高度な日本語の知識と運用力の修得をめざすことができます。

講義一覧 (2024年4月予定)

現代社会学専攻(修士課程)修了要件:30単位以上

■全研究科共通科目

授業科目	単位
Academic English 特論	4

備考 指導教員が研究上特に必要と認めた場合に限り、履修することができます。現代社会文化研究科現代社会学専攻では、修了単位として認定します。

■現代社会学専攻共通科目

授業科目	単位
現代社会学総論	2
社会調査法演習	2

備考 自専攻共通科目(必修) 4単位(2科目×2単位)

■現代社会コース専攻科目

授業科目	単位
理論社会学研究	2
ジェンダー・セクシュアリティ研究	2
家族社会学研究	2
市民社会研究	2
地域社会学研究	2
組織社会学研究	2
医療と社会研究	2
社会と規範研究	2
犯罪社会学研究	2
科学社会学研究	2
多変量解析演習	2
質的調査法演習	2
社会文化理論研究	2
コミュニケーション論研究	2
メディア社会研究	2
文化社会学研究	2
消費社会論研究	2
表現文化論研究	2

備考 専攻科目(選択必修) 18単位以上。
うち、自コース専攻科目: 12単位以上

■スポーツ文化学コース専攻科目

授業科目	単位
スポーツ社会学研究	2
スポーツ文化論研究	2
スポーツ産業特論	2
スポーツ都市文化特論	2
スポーツ医学特論	2
健康医学特論	2
身体運動制御特論	2
身体へのヘルシーエイジング	2
スポーツ心理学研究	2
コーチング学研究	2
情報システム特論	2
情報システム演習	2

備考 専攻科目(選択必修) 18単位以上。うち、自コース専攻科目: 12単位以上

■地域創造コース専攻科目

授業科目	単位
地域政策特論	2
都市政策特論	2
住宅政策特論	2
観光政策特論	2
観光資源研究	2
観光行動研究	2
観光産業研究	2
都市計画研究	2
生活空間研究	2
地域コミュニティ研究	2
地域デザイン研究	2
地域創造事例研究	2
地域文化継承研究	2
文化資源活用研究	2
居住環境研究	2
災害復興研究	2
地域創造学文献研究	2

備考 専攻科目(選択必修) 18単位以上。うち、自コース専攻科目: 12単位以上

■研究指導科目

授業科目	単位
研究演習I	2
研究演習II	2
研究演習III	2
研究演習IV	2
修士論文	-

備考 自専攻自コース研究演習科目(必修) 8単位(4科目×2単位)

教員・専門分野 (2024年4月予定)

〔現代社会文化研究科〕

現代社会学専攻 (現代社会コース)

- | | |
|---|--|
| 赤枝 香奈子 教授、博士(文学)
■ジェンダー・セクシュアリティ研究、
親密な関係の社会学 | 上石 圭一 教授
■社会学、犯罪社会学 |
| 足立 重和 教授、博士(社会学)
■コミュニケーションの社会学、
環境社会学 | 林 大造 教授、博士(学術)
■ボランティア・アドボカシー
(政策提言)の社会学 |
| 藤吉 圭二 教授
■贈り物の社会学、
アーカイブズ学 | 松谷 容作 教授、博士(文学)
■美学・芸術学、表象文化論 |
| 森 真一 教授、博士(社会学)
■自己と他者の社会学、
消費社会学、理論社会学 | 加藤 源太郎 准教授、博士(学術)
■科学社会学、
サブカルチャーの社会学 |
| 前田 至剛 准教授
■インターネットの社会学、
メディア・コミュニケーション論 | |

(スポーツ文化学コース)

- | | |
|---|---|
| 上田 滋夢 教授
■ガバナンス論、スポーツ社会学、
スポーツ戦略論 | 松山 博明 教授、博士(スポーツ科学)
■スポーツ心理学、コーチング学 |
| 上林 功 准教授、博士(スポーツ科学)
■スポーツ環境社会学、
ファミリーマネジメント論、
スポーツ消費者行動論 | 植松 梓 准教授、博士(人間科学)
■スポーツ科学、応用健康学、
スポーツバイオメカニクス、
スポーツ生理学 |
| 馬込 卓弥 准教授、博士(小児発達学)
■スポーツ医学、小児発達学、
教育方法学、体育科教育学 | 林 勇樹 講師
■計算基礎、健康スポーツ科学、
情報学フロンティア |

(地域創造コース)

- | | |
|--|---|
| 井上 典子 教授、Dottore di Ricerca (Ph.D.)
■都市・地域計画学 | 田中 正人 教授、博士(工学)
■都市計画学、災害復興論 |
| 藤田 武弘 教授、博士(農学)
■食農学、都市農村交流論 | 葛西 リサ 准教授、博士(学術)
■家政学、生活科学、ジェンダー |
| 吉田 佳世 准教授、博士(社会人類学)
■社会人類学、民俗学 | 間中 光 講師、博士(観光学)
■観光研究、災害復興論、
地域研究(インドネシア) |
| 安本 宗春 講師、博士(生物資源科学)
■観光学 | |

国際教養学専攻

(国際コミュニケーションコース)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 増崎 恒 教授、博士(文学)
■アメリカ文化 | 松宮 新吾 教授、博士(学校教育学)
■外国語教育 |
|---------------------------|------------------------------|

Ross Eric Miller 教授、Ed.D.
■ Educational Technology

(国際日本学コース)

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| 城野 充 教授
■メディア文化、現代文化 | 筒井 由起乃 教授、博士(文学)
■人文地理学、東南アジア地域研究 |
| 西尾 宣明 教授
■日本近現代学 | 水谷 隆 教授、博士(文学)
■日本中古文学 |
| 数崎 淳子 准教授、博士(文学)
■日本語学(文法) | 佐藤 貴之 講師、博士(国文学)
■日本近現代学 |

国際教養学専攻(修士課程)修了要件:30単位以上

■全研究科共通科目

授業科目	単位
Academic English 特論	4

備考 指導教員が研究上特に必要と認めた場合に限り、履修することができます。現代社会文化研究科国際教養学専攻では、修了単位として認定します。

■国際教養学専攻共通科目

授業科目	単位
国際教養学基礎	2
国際日本学基礎	2

備考 自専攻共通科目(必修) 4単位(2科目×2単位)

■国際コミュニケーションコース専攻科目

授業科目	単位
英語学研究	2
言語学研究	2
応用言語学研究	2
第二言語習得論研究	2
英語教育学研究	2
英語教授法研究	2
英語教材論研究	2
英米文学研究	2
英米文化研究	2
国際コミュニケーション論研究	2
自然言語処理研究	2
国際文化地理学研究	2
意味論・語用論研究	2
形態論・統語論研究	2
コミュニケーション文法論研究	2

備考 専攻科目(選択必修) 18単位以上。
うち、自コース専攻科目: 12単位以上

■国際日本学コース専攻科目

授業科目	単位
日本語日本文化総合演習I	2
日本語日本文化総合演習II	2
日本語学研究	2
日本詩歌研究	2
日本物語・小説研究	2
日本近現代文学研究	2
日本受容文化論研究	2
日本文化史研究	2
日本現代文化論研究	2
日本芸能研究	2
日文学研究	2
クールジャパン研究	2
ポップカルチャー研究	2

備考 専攻科目(選択必修) 18単位以上。
うち、自コース専攻科目: 12単位以上

■研究指導科目

授業科目	単位
研究演習 I	2
研究演習 II	2
研究演習 III	2
研究演習 IV	2
修士論文	-

備考 自専攻自コース研究演習科目(必修) 8単位(4科目×2単位)

取得できる資格(現代社会学専攻のみ)

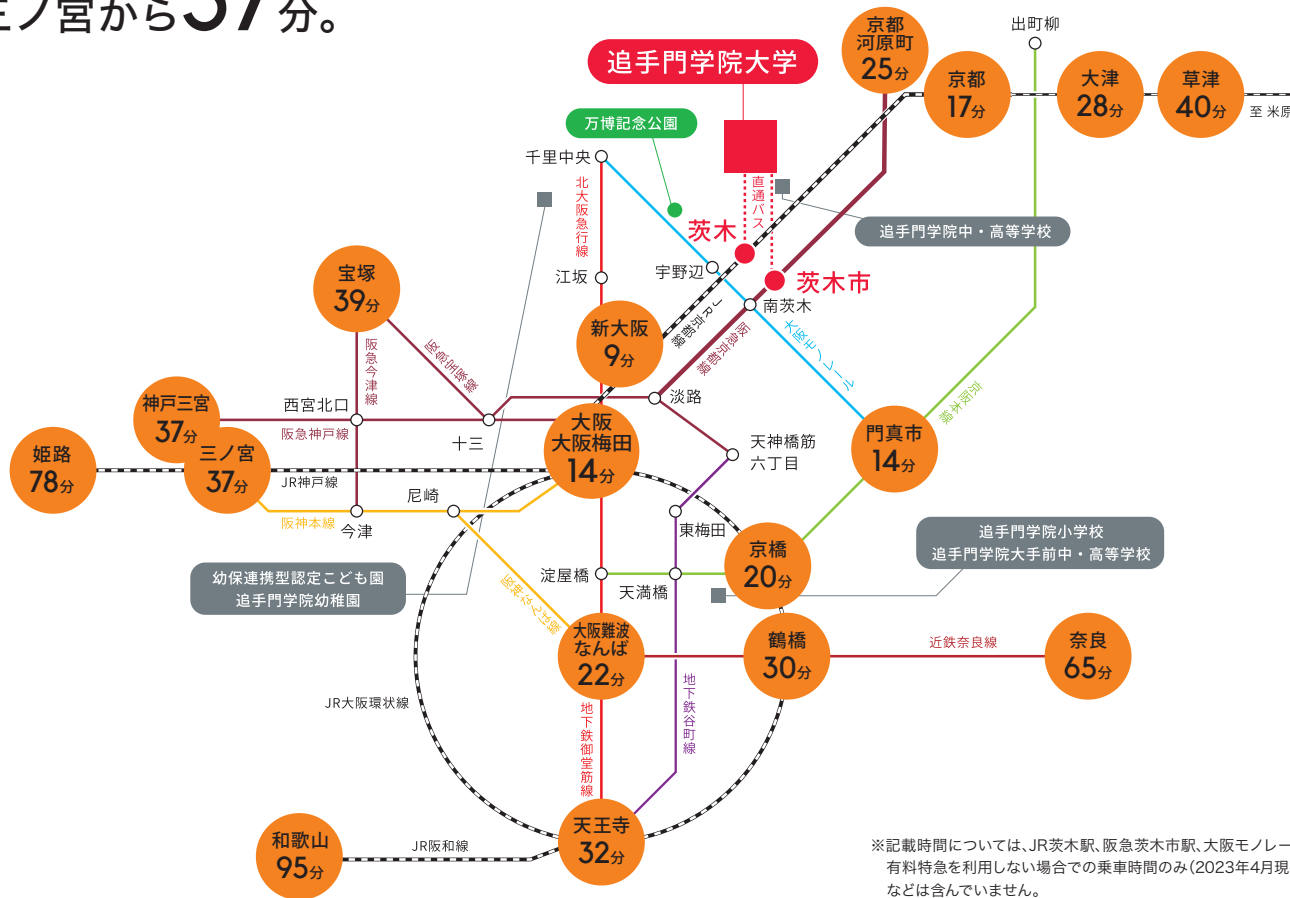
専門社会調査士

※上記の内容は、2023年4月の情報です。最新の情報は大学ホームページ「OIDAI 入試ナビ」をご確認ください。

現代社会文化研究科

大阪から**14**分。京都から**17**分。

三ノ宮から**37**分。



※記載時間については、JR茨木駅、阪急茨木市駅、大阪モノレール宇野辺駅まで、有料特急を利用しない場合での乗車時間のみ(2023年4月現在)。乗り換え時間などは含んでいません。

最寄駅からのアクセス

●通学には、JR茨木駅・阪急茨木市駅から大学までノンストップで運行している直通バスの利用が便利です。



直通バス 約**20**分



●JR茨木駅の改札を出て西口へ。線路沿いの歩道を進み「イオンモール茨木」に到着したら右折。「イオンモール茨木」の建物北側がバス停です[徒歩約8分]。
●大阪モノレール宇野辺駅の改札を出てモノレール沿いの歩道を進み下穂積1丁目の交差点を北に向かい「イオンモール茨木」北側を右折してすぐバス停です[徒歩約9分]。



●阪急茨木市駅の南口改札を出て1階へ。西出口を出て、すぐ右(矢印の位置)にバス停があります。

入試サイト「OIDAI入試ナビ」



追大 入試ナビ



<https://nyushi.otemon.ac.jp>

※本誌に掲載している内容は2023年4月現在の情報です。内容は変更となる場合があります。最新の情報は大学ホームページ「OIDAI 入試ナビ」をご確認ください。



おうてもん
追手門学院大学

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
TEL 072-641-9165 (9:30~17:00 土日祝除く)